

整理No. 2019-23		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生日時		2018年 5月23日(水) 11時頃 天候(晴れ) 温度()℃湿度()%			
災害区分		不休災害 (休業災害 (休業:60日))			
被災者	部門	構内物流会社		雇用形態 (正社員)、派遣、契約、その他(リワーク)	
	年齢	53歳	性別: (男) 女	勤続年数 28年 ヶ月	経験年数 15年 ヶ月
	傷病名	骨折			
	傷病部位	左足指の付け根			
災害発生状況	①倉庫内で原料ドラム(中身250kg) 4本を載せたパレットを移動させていた。		状況概略(写真orイラスト) 		
	②作業の途中で、爪の差込みが浅いままパレットを持ち上げたので、ドラムの重みでパレットが割れて、ドラム2本が落下した。				
	③残りの2本がパレット天板上に載った状態でリフトを1mほど後進させた。				
	④その後、リフトを降りて状況の確認を行おうとした時、パレットに載っていたドラムが倒れてきて避けようとしたが、避けきれずドライバーの足の上にドラムが倒れ、左足の付け根を骨折した。				
災害の型 ^{※1)} :4 飛来、落下		作業の形態: (定常) 非定常、その他()			
起因物: フォークリフト		特記事項 特になし			
原因分類	1.人的要因(man): フォークリフトの基本操作不遵守(爪の位置) KY不足 (先に落ちたドラムに気を取られ、危険なドラムに近づいた)				
	2.物に関する要因(machine): パレットの耐動荷重超過(直接的な原因では無い) (250kg+22kg)×4本= 1108kg (パレットの耐動荷重 = 1000kg)				
	3.環境要因(media): 特に無し				
	4.管理的要因(management): 緊急時の対応への指導不徹底				
対策	①フォークリフト運転の基本動作の再徹底。				
	②特に、持ち上げた際一度止めて、荷物が確実に積みつけられていることを確認してから走行する。				
	③事故・災害発生時の初動の際には、単独で行動せずに、安全確認後、救援を求める。				
	④原点にもどり災害事例からフォークリフト対策を学ぶ。				
	⑤KY活動を更に推進し、ゼロ災害を目指す。				
対策分類 ^{※2)} : 1-2災害・事故の想定と対応、1-6教育、2-4危険認識					

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)